



2名の方が最優秀賞を初受賞！！

～秋の花壇コンクール入賞者決まる～

昭和47年（1972年）から実施している、秋の花壇コンクールの入賞者が決まりました。今回は、新規参加6件を含む74件の参加があり、5部門中2部門で最優秀賞が初受賞の方となりました。

■審査員コメント

例年にはない長梅雨と猛暑を乗り越え、多くの花壇において、花は夏バテすることなく、生き生きと咲いていました。草取りや花柄摘みなどの基本的な管理が行き届いており、皆さんの愛情を込めた日々の手入れの素晴らしさが感じ取れました。

■添付資料

- ・入賞者名簿
- ・最優秀賞受賞花壇写真
- ・審査員講評

■最優秀賞初受賞者花壇写真

家庭花壇の部
小谷 憲子



コンテナガーデンの部
稲葉 恵子



問合せ

都市建設部 花と緑の推進課

担当：小島、加藤

052-603-2211、0562-33-1111（内線436）

令和4年度（2022年度） 秋の花壇コンクール入賞者名簿

部門	賞	氏 名
家庭花壇の部	最優秀賞	こたに のりこ 小谷 憲子 ☆初
	優秀賞	こじま まさこ 小島 まさ子
	〃	かたぎり まさこ 片桐 眞砂子
	優良賞	なかやま きょうこ 中山 恭子 ○新
	〃	はまいし みえこ 濱石 美枝子 ○新
	努力賞	すずき すまこ 鈴木 須磨子
コンテナガーデンの部	最優秀賞	いなば けいこ 稲葉 恵子 ☆初
	優秀賞	びようしつたえこ 美容室TAEKO
	〃	ながた みさこ 永田 美佐子
	優良賞	ぱーるびようしつ パール美容室
	〃	ひろた ひろし 尋田 廣
	努力賞	おおむら けいこ 大村 景子
道路から見た美しい花壇の部	〃	ふじ きょうこ 藤 京子
	最優秀賞	ませ よしこ 間瀬 よし子
	優秀賞	かわさき ななえ 川崎 七枝
	〃	よねざわ たえこ 米沢 妙子
	優良賞	しゃかいふくしほうじん さつきふくしかい 社会福祉法人 さつき福祉会
	〃	こうだ かずこ 香田 和子 ○新

部門	賞	氏 名
共同花壇の部	最優秀賞	あらおじゅうたくちょうないかい 荒尾住宅町内会
	優秀賞	あいちせいこう こうきか 愛知製鋼 工機課
	〃	はなぼらのかい 花ボラの会
	優良賞	やまはたはなぼらかい 山畑花ボラ会
	〃	おおおいけけんこうこうりゅうのいえ 大池健康交流の家
	努力賞	あわいけはなさかせたい 泡池花咲かせ隊
保育園・学校花壇の部	〃	かなんはなさかせたい 加南花咲かせ隊
	〃	しんうえのがおかじゅうたくじちかい 新上野ヶ丘住宅自治会
	最優秀賞	みついでしょうがっこう 三ツ池小学校
	優秀賞	なわしょうがっこう 名和小学校
	〃	めいりんしょうがっこう 明倫小学校
	優良賞	なわちゅうがっこう 名和中学校
	〃	ふなじましょうがっこう 船島小学校
	努力賞	へいしゅうちゅうがっこう 平洲中学校
	〃	かぎやちゅうがっこう 加木屋中学校
	〃	やぶほいくえん 養父保育園
	〃	なわひがしほいくえん 名和東保育園

☆初・・・初受賞

○新・・・新規参加



最優秀賞

★初受賞

家庭花壇の部

小谷 憲子（富貴ノ台）



道路から見た美しい花壇の部

間瀬 よし子（加木屋町）



★初受賞

コンテナガーデンの部

稲葉 恵子（加木屋町）



共同花壇の部

荒尾住宅町内会（荒尾町）



保育園・学校花壇の部
三ツ池小学校（加木屋町）



令和４年度（２０２２年度） 秋の花壇コンクール審査講評

1 各部門の最優秀賞の講評

(1) 家庭花壇の部

一年草、宿根草、花木が花壇に調和良く植栽され、その周りにもハンギングバスケット、コンテナの寄せ植えが飾られており見事だった。水管理、花柄摘みも徹底され、草花が元気に育っていた。

部門全体的に鉢の寄せ植えを集合させる参加者が見られたが、今後は地面に植栽をする方もあとと良い。

(2) コンテナガーデンの部

寄せ植えされた３鉢のコンテナと、後ろに吊るされた２鉢のハンギングバスケットが調和を保つと同時に、最前列の寄せ植えに躍動感があり、強いインパクトがあった。

コンテナガーデンの部は花数も少なく、多くの皆さんが参加しやすい反面、参加者の創意工夫が多岐に渡ることから、部門名の工夫も必要になってきている。

(3) 道路から見た美しい花壇の部

多くの鉢植えの草花を集合させ、ボリュームある花壇が作成されていた。中でも滝の水が流れるように鉢が配置されていたのは見事であった。毎日の水やりの苦労が想像できた。長年地域への花いっぱい運動の取組の見本となっている点も素晴らしい。

部門全体的に、花が咲く草花だけでなく、葉を見るカラーリーフの草花を植栽する花壇が見られたことが印象的だった。

(4) 共同花壇の部

共同花壇は大面積のものが多く、栽培管理が行き届かない場合も多いが、１箇所にポイントを集め、全体美観を上手にまとめていた。草花の生育の良さと、コキアをポイントに置くなど空間構成を見事に演出していたのが素晴らしい。

共同花壇の部は、花壇によっては散水栓が近くになく、毎日の水やりに苦労されている様子も多かったが、全体的に草ひとつ見られないほどきちんと管理されており、日々の努力の結果が伝わってきた。

(5) 保育園・学校花壇の部

多種類の草花が高低をつけて植栽され、装飾技術に優れているとともに、草取りや花柄摘みの管理努力の成果が見られた。子供たちが学校で健全に生活する中での花壇の役割が非常に大きいことを感じた。

部門全体的に、草取りや花柄摘みが徹底されていた。

2 総評

今年も猛暑の中の審査となったが、昨年に比べて夏バテしている花は少なく、審査日を１０日早めたことも功を奏したと思われる。ただ、例年にはない長梅雨のためか、株の徒長がやや見られた。草取りや花柄摘みなどの基本的な管理は例年より行き届いていた。全体的に生き生きとした花も多く見られ、愛情を込めた日々の手入れの素晴らしさも感じ取れた。

部門分けについては、今後も現状に即して区分を工夫していく必要性を感じている。

令和４年（２０２２年）８月１０日

審 査 員

名古屋市緑化センター 緑の相談員

谷 澤
梶 田

隆
靖